



発行 日本共産党国会議員団
2018年4月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F Tel 045-324-6516

国会活動報告

志位委員長「内閣総辞職を」

3月25日、森友文書改ざん事件の真相究明、安倍内閣総辞職を求める街頭宣伝が、東京・新宿伊勢丹前で開催されました。市民や各野党の代表が訴え、8000人(主催者発表)が、「公的文書を改ざんするな」とコールしました。志位委員長は、公文書改ざんを「知らなかった」と居直る安倍晋三首相に対し、「改ざんを知っていたならアウト。こんな大事なことを知らなかったら、これも行政の最高責任者としてアウトです。責任をとって内閣総辞職を」と訴えました。佐川前国税庁長官だけでなく、安倍昭恵氏らすべての疑惑当事者の証人喚問で真相究明をやり抜こうと呼びかけました。

「内閣総辞職を求める緊急新宿大街宣」でスピーチする志位委員長=25日東京都新宿区



木更津にオスプレイ許さない はたの氏ら、中止を要請



防衛省が5機のオスプレイを陸上自衛隊木更津駐屯地に暫定配備の方針との報道を受け、はたの君枝衆議院議員らは3月30日、防衛省に説明を求め、配備の中止を要請しました。防衛省担当者は、「機体は米国に留め置くことも含め、あらゆる選択肢を検討している」と回答。

参加者は「地元では不安と混乱が広がっている。報道が虚偽であれば、各メディアに訂正を求めるべき」と追求。また聞き取りでは、整備中のうち1機が組み立て・塗装の後、試験飛行を予定しています。参加者は、数万人が訪れる木更津の潮干狩り場がオスプレイの試験飛行コースになっている事を指摘。観光シーズンの試験飛行は止めるべきと米軍に要請するよう、求めました。要請には地元住民と、しいば寿幸参議院比例予定候補、浅野ふみ子参議院選挙区予定候補、さいとう和子前衆議院議員、丸山慎一県議、木更津市と船橋市の市議団らが参加しました。

『納付の意志がある滞納者には相談にのる』差し押さえが猶予に

川崎市内で倉庫作業の請負会社を経営する男性に対する差し押さえについて、松本幸民商事務局長は、はたの議員を通じて国税庁に説明を求めました。男性は経理業務の不十分さから税金を滞納。分納してきましたが2017年12月分を支払えず、差し押さえを受け、納付相談を受けられない状況でした。松本氏は「売掛金が差し押さえになると社員の給与が払えない」と訴えました。国税庁職員は、相談窓口を示しました。

畑野氏は「納税をする人の意志を尊重した相談がされれば、税を完納できる経営者はいます。今後もていねいな対応を求めたい」と述べました。その後、差し押さえは猶予されています。

米軍の弾薬輸送問題で要請 防衛省『承知していない』に怒り



(右から)2人目が今宮氏、(左へ)守谷議員、一人おいてあさか氏、しいば氏、はたの議員=3月20日国会

在日米軍が、東広島市(広島県)の米軍川上弾薬庫から、神奈川県横浜市の羽沢駅までJR貨物輸送で弾薬を運び、そこからキャンプ座間まで陸路(トラック)輸送している問題で、外務防衛両省、警察・消防に要請し、実態を聞きました。防衛省は「米軍の運用に関わる事項であり、承知していない」の回答に、参加者一同、怒りがわきました。

はたの君枝衆議院議員、しいば参院比例予定候補、あさか神奈川選挙区予定候補、守谷座間市議、今宮相模原市議予定候補等が住民の皆さんと一緒に問い質し、1,851筆の署名を手渡しました。

はたの議員、教育への不当な介入をただす

3月30日、はたの議員は衆議院文科委員会で、文科省が前川喜平前事務次官の公開授業の報告を名古屋市教育委員会に繰り返し求めた問題で、「教育現場に不当な支配を持ちこんではならない」ときびく追及しました。畑野氏は、教育行政の行為にも「不当な支配」が適用されると判断した旭川学力テスト事件の最高裁判決(1976年)を示し、同省の認識をただしました。林文科相は「論理的には教育行政にも当てはまることもあり得る」と認めました。

はたの氏は地教行法に基づく調査が過去何例あったのか質問。文科省初等中等教育局長は、中学理科の実験中に生徒が病院搬送れた例など3件しか示せず、同法に基づく指導・助言に法的拘束力がないと答弁しました。文科省は調査の理由について、前川氏の発言が「仮に学習指導要領と整合せずとも正しいと受け取られる可能性があった」としています。はたの氏は「仮定の話で教育に介入できるとすれば、好き勝手に介入できてしまう。過去の例と比べても異常だ」と批判。政治家の介入もあったとして集中審議を求めました。



小田急バス本社と交渉 臨時バス見直して

3月15日、日本共産党川崎市多摩区委員会と麻生区委員会は、地域住民とともに東京都調布市の小田急バス本社を訪問し、バス運行などについて要請しました。はたの議員、しいば寿幸氏、あさか由香氏、井口まみ・勝又光江両市会議員同席しました。

多摩区寺尾台の路上が、遊園地「よみうりランド」の催しに合わせて走る臨時便の待機場所になっており、排ガスや振動など住環境の悪化をもたらしています。同社の担当者は「2月以降は寺尾台には乗り入れていない」と回答しましたが、2月も多数のバスが寺尾台を走っている事を住民らが指摘。震度2以上にあたる振動が1日に24回も発生している事実を示して対策を求めました。また、バス停の屋根やベンチ設置なども要望。はたの氏は「住民の安全と利用者の利便性を第一に考えて」と訴えました。



右から、勝又市議、あさか氏、しいば氏、はたの議員、井口市議=15日、調布市